

貯法
室温保存 高温を避けて保存すること
使用期限
外箱に表示（3年）

抗ウイルス剤

日本標準商品分類番号

87625

※※ **ビダラビン軟膏3%「F」** ※※

ビダラビン軟膏
VIDARABINE ointment

承認番号	22500AMX00582
薬価収載	2013年6月
販売開始	1999年7月

※指定医薬品の廃止に伴う改訂

【禁忌（次の患者には使用しないこと）】
本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

販売名	ビダラビン軟膏3%「F」
有効成分	ビダラビン
含量（1g中）	30mg
添加物	白色ワセリン、流動パラフィン
色調・剤形	白色・軟膏剤

【効能・効果】

帯状疱疹、単純疱疹

【用法・用量】

患部に適量を1日1～4回、塗布または貼布する。

《用法・用量に関連する使用上の注意》

1. 本剤の使用は、発病初期に近い程効果が期待できるので、原則として発症から5日以内に使用開始すること。
2. 本剤を7日間使用し、改善の兆しがみられないか、あるいは悪化する場合には他の治療に切り替えること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

本剤は局所治療を目的とした薬剤であるため、発熱、汎発疹等の全身症状がみられる場合又は使用中にあらわれた場合には重症化することがあるので、他の全身的治疗を考慮すること。

2. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ペントスタチン	ビダラビン（注射剤）との併用により腎不全、肝不全、神経毒性等の重篤な副作用が発現したとの報告がある。	ペントスタチンが、ビダラビンの代謝に関与するADA（アデノシンデアミナーゼ）酵素の阻害作用を有するため、ビダラビンの血中濃度が高まることによると考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて適切な処置を行うこと。

	頻度不明
皮膚	接触皮膚炎様症状、刺激感、そう痒感等

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用するこ

と。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。なお、静脈投与による動物実験（ラット、ウサギ）で催奇形作用が報告されている。〕

5. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児に対する安全性は確立していない（使用経験が³少ない）。

6. 適用上の注意

(1) 使用部位

眼科用として、角膜、結膜には使用しないこと。

(2) その他

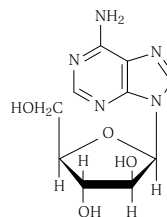
本剤の基剤として使用されている油脂性成分は、コンドーム等の避妊用ラテックスゴム製品の品質を劣化・破損する可能性があるため、これらとの接触を避けさせること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ビダラビン（Vidarabine）

化学名：9-β-D-arabinofuranosyladenine

構造式：



分子式：C₁₀H₁₃N₅O₄

分子量：267.24

性状：白色の結晶性の粉末で、におい及び味はない。

ジメチルスルホキシドに溶けやすく、酢酸（100）に溶けにくく、水又はエタノール（95）に極めて溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

吸湿性である。

融点：約250℃（分解）

【取扱い上の注意】

※※ **安定性試験**

最終包装製品を用いた長期保存試験（室温、なりゆき湿度、3年）の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、ビダラビン軟膏3%「F」は通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。¹⁾

【包装】

5g×5

5g×10

【主要文献】

1) 富士製薬工業株式会社 社内資料（安定性試験）

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。
富士製薬工業株式会社 富山工場 学術情報課
〒939-3515 富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地
(TEL) 076-478-0032
(FAX) 076-478-0336

製造販売元

富士製薬工業株式会社
富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地